

**所長あいさつ**



4年ぶりに君津に戻ってきましたが、当時と変わったところがたくさんあり、少々とまどっています。たくさんの方と出会うよう、また、先生方を早く覚えられよう、できるだけ学校に足を運びたいと思っていますので、よろしくお願いします。

教育センター事業の中心は、先生方の研修のお手伝いをする事です。計画研修や移動センター等を通して、少しでも先生方のお役に立てよう頑張っています。

ここ数年、新規採用者が増えてきていますが今年にはさらに多くなりました。新規採用者を含め、若年層の先生方への支援も行っていきたいと考えています。授業研究会以外でも気軽に声をかけてください。

**専門医による「さわらび相談室」**

児童・生徒の不登校や情緒障害等の精神科的課題を解決するために、専門医によるカウンセリングを行う「さわらび相談室」を開設しています。相談の形態を事前に申し出ただけであれば、事情等により対応が可能です。お気軽にご相談ください。

相談医；植木良裕医師(きみつ心療クリニック院長)  
山田 愛医師(木更津病院)

< 7月以降の予定 >

(植木医師)9/8、11/10、1/19、2/16  
(山田医師)9/22、10/20、11/17、12/15、2/2、3/2

**新所員紹介**



西村 雅孝 主査補

君津市立周西中学校よりまいりました。4月より、スクールボランティア活用事業・普及奨励事業・コンピュータ研修事業等を担当しております。

これまでの教育現場で学んだことを生かしながら、君津市教育の充実・発展のために微力ながら「精一杯」頑張りたいと考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。



秦 礼子 教育相談員

月曜日と木曜日の週2日お世話になっています。今までの仕事と大きく違うので戸惑うことも多いのですが、早く仕事に慣れ、少しでもお役に立つことができたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。



渡辺 厚子 教育相談員

火曜日と金曜日にお世話になってます。相談電話の対応・各種資料の整理等々の仕事をしています。これまでに経験のなかったことなので、今はとても楽しいです。

「教育センターに行ったらホッとする」と思っていただけに、スマイルをモットーにして勤務していきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

**今年度の研修予定**

(夏季休業中の計画研修について)

**<教育センター研修>**

講座名	主な内容	期日・時間・場所
教育相談研修会 (基礎)	「不登校の新しい対応の在り方」	8/10 9:30~12:00 市役所601
	「教師と子どもの人間関係づくり」	13:30~16:00 市役所601
	「事例研究・演習」	8/17 9:30~12:00 富津市役所
	「教育相談演習」	13:30~16:00 5階502 503
	「軽度発達障害の理解と対応」	8/18 9:30~12:00 富津市役所
	「教育相談の理論と実際」	13:30~16:00 5階502 503
道徳研修会	「道徳教育の今日的な課題」	7/27 13:30~16:00 市役所601
小学校英語活動 実践講座	小学校英語活動充実のための ワークショップ(模擬授業等)	7/27 9:15~12:00
養護教諭研修会	「昨今の虐待の実情と対応について」	8/26 9:00~12:00 市役所201
小学校体育 指導者研修会	児童の体力向上のための実技研修 - 体づくり運動及び器械体操を中心に -	7/22 9:30~12:00 外箕輪小 体育館
コンピュータ 研修会	ワープロソフトの活用方法「ワード」	7/22 9:30~15:30 周西中
	表計算ソフトの活用方法「エクセル」	7/28 9:30~15:30 君津中 周西南中
	プレゼンテーションソフトの活用方法 「パワーポイント」	8/ 3 9:30~15:30 外箕輪小
	ホームページ作成ソフトの活用方法 「ホームページビルダー」	8/ 4 9:30~15:30 周南中
特別支援教育 研修会	「教室の中で気になる子どもへの指導」	8/23 13:30~16:00 市役所601
小学校生徒指導 担当者研修会	「学級づくりと校内生徒指導体制の充実」	7/26 13:30~16:00 市役所601
図書館担当者 研修会	「学校図書館担当者の役割と図書館教育」	8/25 13:30~16:00 市役所201
教育課程講演会	児童生徒一人一人が生き生きと学ぶ指導 のあり方について	7/28 14:30~16:50 市役所601

詳しい内容につきましては、各講座の開催通知をご覧ください。



**教育センターだより**

編集・発行  
君津市教育センター  
君津市久保2-13-1  
TEL(56)1451  
FAX(56)1648  
第135号

長欠対策シリ-ズ その12

**我が校の長欠対策**

君津市立周西中学校 校長 三浦 利夫



「チームで考え、組織的に機能する支援体制づくりを目指して」

いつの時代にあっても我々教師は、生徒たちが健康で明るく、心豊かにたくましく育って欲しいと思いつけて日々教育活動にあたっています。しかしながら昨今の子供たちを取り巻く環境は、都市化の進展、情報化、少子化、多様な価値基準、国際化など様々な形でその発達に影響を与えています。このような中、本校の生徒指導上の問題は多岐にわたっており、特に不登校生徒数は若干の減少に転じたものの依然として、憂慮すべき状況にあります。

そこで我々教師集団は、常に「いつでも、どこでも、だれでも」をモットーに教育相談にあたり、生徒理解が生徒指導の中心であるという理念のもとに、動きはじめております。職員室では「誰が登校していないか」が常に話題になります。教師は常に受容的であること、共感的であること、誠実であること等を念頭において、教育活動を行っています。最近の不登校の生徒については、そのきっかけが不安などの情緒的混乱によることが多く、とても一人の学級担任だけでは対応できるものではありません。

そこで本校では以前から行っている月1度の長欠対策会議に加え、本年度よりスタートした特別支援教育委員会の動きを合体し、合同会議を開くことにより、より多くの教師が共通理解し、支援の方法についていろいろな立場からの意見が出るようにしてきました。構成委員は、校長、教頭、教務主任、生徒指導主任、学年主任、副主任、養護教諭、特殊教育担当者、スクールカウンセラー、長欠担当、特別支援担当です。とにかくすべての教員が「生活記録ノート」や毎月の「心の健康点検」などを通して、生徒の心の理解をするように心がけます。そして問題の生徒を発見したら、気にかけていることを伝え、保護者との情報交換をします。

そして校内での支援チームを作り、心情を聞く場を設定します。また、その支援チームで方針を考えます。キーパーソンは誰かも検討します。場合によっては専門機関と連携をはかります。心理療法、薬物療法等が必要な場合があるからです。

また必要に応じて医師の診察をすすめます。心因でない疾病の場合もあり、たとえ心因と思われても、その症状を放置することはできません。長欠の状況が、非社会的行動である場合、自傷行為である場合、反社会的な行動である場合等さまざまですが、それぞれの行為に対する指導は千差万別です。ただ、支援チームで常にいろいろな立場から、月1回ではあっても活動報告しあうことにより、次の支援の方法が手探りではありませんが、少しずつ見えてくように思います。

昨今、知的障害はなくとも軽度の発達障害があり、特別な支援を必要とする生徒の数が多くなっているように思えるのは本校だけでしょうか。例えば対人関係がうまくとれなかったり、執着やこだわりがあったり、多動性、衝動性、すぐにキレルといった問題行動等の症状が見られる生徒が本校においても出ています。このような中で我々はとにもかくにも今後の日本を背負う若者を育てているわけで、その責任は重いものがあります。

とにかく全校体制でこの問題に取り組む必要があると思います。そしてどんな子も受け入れられる居場所づくり(本校は学習室：集団にどうしても入れない生徒、オアシス：相談目的、特別支援室：教室に入れない生徒・別室登校生徒)を行い、人間関係作りを育てるための教育活動をしていくつもりであります。

今後一層の教育相談の充実、構成的グループエンカウンターを活用した人間関係作り、ソーシャルスキル教育を取り入れた人間関係作り、ピアサポートを通じた集団作り、リラクゼーションを用いたストレスコントロールなどについて研修したいと考えております。



